

第一次 富士見町サル被害対策プロジェクト 令和3年度 年次報告書

令和4年5月 富士見町有害鳥獣対策協議会

基礎
データ

- サル分布状況:瀬沢群 50頭、鳶木群 50頭、花場群 150頭 【加害レベル】いずれもレベル3(目安:通年農地に出没し、農作物に被害を及ぼす)
- 農作物被害額(H28):1,489千円 【作物種別】トウモロコシ、ネギ、カボチャ、ブルーベリーなど
- 進入防止柵(集落柵)の設置:51.1km 【柵の種別】ネット柵(通電あり・なし)、電気柵、金網複合柵
- サル捕獲頭数(H28):瀬沢群 9頭、鳶木群 16頭、花場群 26頭

※第一次 富士見町サル被害対策プロジェクトより引用

サル被害対策の現状と課題

<追払い>
被害農家個人レベルでの実施
>集落全体での追払いの実施

<環境整備>
誘因物の残存、緩衝帯未整備箇所
>誘因物の現況把握、緩衝帯整備の実施

<進入防止>
集落柵設置事業の完了も、通電しなかったり隙間があったり、そもそもサル対策に向いていないものも
>資材支給などで不良箇所の修繕をサポート、電気柵監視通報システムの有効活用、農地ごとの電気柵設置

<有害捕獲>
通年、特に冬期に集中して捕獲を実施するも、徐々に捕獲されにくくなっている
>テレメトリー調査などによりサル群れ情報・行動特性を把握し、計画的に捕獲

第一次 富士見町サル被害対策プロジェクト(平成三十年三月)

基本方針
町の豊かな自然、農業、暮らしを守るために、「追払い」「環境整備」「進入防止」「有害捕獲」の各対策を、地域のみなさんと協働して、総合的に進める

複合的なサル対策

集落診断

サルの出没位置や誘因物、進入防止柵の現況を調査し、被害原因を特定

追払い

繰り返しの追払いや、集落みんなでの追い上げでサルから怖がられる

環境整備

収穫後の残さや廃果の撤去や、林や藪の整備でサルのエサ場にさせない

進入防止

圃場、集落の種別に応じて進入防止柵を維持管理し、すき間をなくす

有害捕獲

テレメトリー調査などによりサル群を分析し、悪さをする個体を取り除く

加害群れの発生のメカニズム

サルは、山に生息している

山に人が来ないから自由に動き回る

畑に近づくとエサがある

ある特定の個体は野菜に餌付く

加害群れの発生

複合的なサル対策により加害群れ発生を抑制

目標

- ・ サル被害の軽減
- ・ 里山のにぎわい復活
- ・ 里地の地域資源の有効活用
- ・ 地域で声をかけあう光景

第一次 富士見町サル被害対策プロジェクト 令和3年度 年次報告書

令和4年5月 富士見町有害鳥獣対策協議会

基礎 データ

- サル分布状況:瀬沢群 40頭、鳶木群 35頭、花場群 100頭、平岡群 30頭
- 加害レベル:鳶木群 レベル4(目安:群れの全個体が通年耕作地周辺に出没、常時農作物被害、人慣れしている)
その他 レベル3(目安:群れの大半の個体が季節的に耕作地に出没、季節的に農作物被害、人慣れし始めている)
- 販売用農作物被害額(R3):50千円 【作物種別】トウモロコシ、カボチャなど
- 賦存進入防止柵(集落柵):50.3km 【柵の種別】ネット柵(通電あり・なし)、電気柵、金網複合柵
- サル捕獲頭数(計画期間累計):163頭(瀬沢群25頭、鳶木群56頭、花場群75頭、平岡群8頭)

※令和4年度第二種特定鳥獣管理計画(ニホンザル)
年次計画(富士見町計画)より一部引用

集落 診断

- GPSデータを引き続き収集し、環境整備や有害捕獲の基礎資料として活用

追払い

- 集落からの申請に基づき、追払い資材の支給
- ホームページのサルマップを通じて、住民のみなさんの追払いの実施状況を共有
- 農家の方との現地立会いや広報お知らせ版9月号で、追払い方法について案内(道具なしに人間が近づくだけでも、サルは逃げていきます)

環境 整備

- 協議会事業により、池袋区で進入防止柵設置予定箇所に長さ193m、幅おおむね5m以上の緩衝帯を整備
- 小手沢地区で、森林環境譲与税を活用しての里山整備事業(間伐)を実施。令和4年度も小手沢・上鳶木地区での事業を計画
- 農家の方との現地立会いや広報お知らせ版9月号で、誘引果樹ややぶ払いなどの環境整備を案内

進入 防止

- 池袋区の集落直営での進入防止柵の新設のため、資材を支給
- 上鳶木区で、長さ169mの進入防止柵の設置工事
- 先能集落組合で、長さ60mの進入防止柵の設置工事
- 平岡・神代区で、長さ343mの進入防止柵の張替え工事
- 集落からの申請に基づき、進入防止柵の補修等の資材を支給
- 個人の農地に設置する電気柵の資材費に補助金を交付
- 電気柵監視通報システムのアカウント等を集落へ案内
- 御射山神戸区では、毎日電気柵監視通報システムを利用することで、迅速な修繕につながっている
- 大平区と電気柵監視通報システムについて打合せを実施、利用につながる

有害 捕獲

- 富士見町獣友会に通年の委託をし、冬期(11月~2月)は専門業者と連携するなど、30頭のサルを捕獲(瀬沢群2頭、鳶木群1頭、花場群26頭、平岡群1頭)
➢うち、11月~2月の捕獲は8頭。
- わな監視通報システムを活用しての捕獲を実施。